

HBA バasketボール大会再開に向けたガイドライン
に基づく KBA ステートメント (2021年5月16日改訂)

◎基本的な考え方

1. 生命・健康の安全を優先として、感染拡大リスクを最大限排除し、選手・チーム、審判、運営スタッフ、関係者の家族などが安全・安心して活動できる環境を確保する
2. 北海道や開催地区自治体等（施設管理者含む）からの要請を踏まえて、感染症対策を実施する。
3. JBA・北海道Basketボール協会からのガイドラインを参考にBasketボール競技の特性を考慮する

◎感染対策の基本

主催者及び参加者（チーム）がそれぞれ、事前・事業実施・事後に相互に連絡を取り合い、感染防止のための協力体制を構築する。

次の事項に該当する場合は、自主的な参加の見合わせを行う。

1. 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
2. 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合（濃厚接触者の疑いもある場合も含む）
3. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

◎基本の感染防止

1. 大会等の参加者全員がマスク着用し、会話を最小限に留める。（アップ中の選手・試合に出場している選手は除く）※ベンチにマスクの落とし物が無いよう各自で管理
2. 大会等の参加者全員が自宅にて2週間前から体温を検温する。大会当日に検温を忘れた場合は、各会場入り口で体温を大会関係者により検温してもらい会場に入場する。
3. 大会等の参加者全員がフィジカルディスタンス、ソーシャルディスタンス確保を徹底する。
4. 大会等の参加者全員が基本的な衛生エチケットを遵守する。（咳エチケットの励行等）
※参加者全員とは、選手、審判、運営スタッフ、関係者の家族など
5. 大会会場入場前及び会場から外に出るときは必ず手指の消毒を行う。

◎消毒剤等の準備

1. アルコール消毒剤の使用ができるように準備、設置し、頻繁に手洗い・手指消毒を実施する。

◎接触感染防止

1. 複数の人が接触する部分（ベンチ・TO席等）は、頻繁に消毒する。（アルコールスプレー・ペーパータオル）
2. ゲーム前にチーム関係者・審判などは手指消毒してアリーナ（競技場）に入場する。
3. Basketボール等の消毒に不向きな用具器具については、用具器具の消毒ではなく手指消毒を頻繁に行うことで対応する。
4. 試合前後または試合中に、握手、ハイタッチ等を避ける。
5. ドリンクを冷やすクーラーボックス等の設置を避ける。
6. タオルの共用、ハンドドライヤーを使用しない。
7. ごみ処理（鼻をかんだティッシュ・ペットボトルなど）は接触感染を防ぐための各自で行う。
※ゴミは、自己管理の上持ち帰る。

◎密集・密閉・密接防止

1. 諸室等はドアや窓を開けて3つの密が発生する環境を防止する。
2. 観客席等は、周囲に人となるべく距離を空け、密になることを避ける。
3. 体育館等は、可能な限りドアや窓を開けるなどして換気を行う。
4. 諸室や更衣室等は、換気扇を常に回し、ドアや窓を開けて換気を行う。

◎感染防止の啓発

1. 感染症予防のための注意事項を、各チームを通じて周知し又、会場に掲示し、遵守する。

◎事後対応

1. 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、当日の参加者から取得した書面や健康チェックシートに保存期間を明記した上で保存する。
2. 事業終了後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は速やかに報告する。
3. 事業実施中は可能な限り行動記録を作成する。

◎参加者等の感染症以外の疾病等の防止

1. 熱中症防止のためのこまめな水分補給を行う。